

# 子どもたちが主役です！ 第10回「東海村子ども芸術祭」

村内の各小学校の児童による書道・絵画作品を展示するほか、ダンスや合唱などのステージ発表を行います。子どもたちの素晴らしい作品と発表を、ぜひご覧ください。

## 書道・絵画作品展示

12月3日(土)午後1時～5時、  
12月4日(日)午前9時～午後5時

書道は各小学校選定作品(1～2年生は硬筆、3年生以上は毛筆)のほか、「東海村エンジョイ・サマースクール2022」夏休み子ども作品教室選定作品を展示します。絵画は各小学校選定作品(1～6年生)を展示します。

## ステージ発表

12月4日(日)午後0時50分～5時

ジャズダンス連盟、モダンダンス連盟、フラダンス連盟、よさこいソーラン連盟、東海村少年少女合唱団が出演します。

場所▼東海文化センター

入場料▼無料 ※ステージ発表には入場整理券が必要となります。入場整理券は、東海文化センターで配布しています。

その他▼新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため、中止・延期となる場合があります。

問い合わせ▼東海文化センター(☎282-8511)



ふるさと歴史訪  
〜自然を探して〜

## 「新川の神秘」長さ7キロメートルの驚き

茨城県環境アドバイザー  
川島 省二

平成19(2007)年11月、南台団地下の新川で川の生物学習会をしていたところ、大型の魚が足元を通過しました。「コイか?」と思ったその瞬間、サケが産卵していたのです。役場関係者も周りの人も新川でサケを見たことはないというのです。

多様性の保全と持続可能な利用に関する努力義務を定めた「生物多様性基本法」が制定されました。これを受けて、村では改めて自然環境の把握に力を注いでいくのです。筆者は水辺の生物を担当し、平成22(2010)年からの2年間、村内河川や

ため池の生物調査を実施しました。そこで、新川の生態系に驚きます。

市(市)の瀬川にも相次いでサケが遡上し、話題となりました。全国的に力を入れてきた農業集落排水処理機能の充実や、下水道接続義務化の施策によって水質浄化が進み、「生活排水の垂れ流し」が減少したことによって河川水質が向上した成果と考えられました。「でも、ちゃんと卵はかえっているのか?」。その後の調査で産卵場所の砂利の下に目や血管が見える受精卵と仔魚も確認され、新川でのサケのサイクルが認められました。

その頃、日本では「生物多様性」という言葉が多用されはじめ、平成20(2008)年6月、生物



【新川サケの仔魚】



【新川サケの卵】

多様性の保全と持続可能な利用に関する努力義務を定めた「生物多様性基本法」が制定されました。これを受けて、村では改めて自然環境の把握に力を注いでいくのです。筆者は水辺の生物を担当し、平成22(2010)年からの2年間、村内河川やため池の生物調査を実施しました。そこで、新川の生態系に驚きます。魚類は清流にすむ環境省絶滅危惧種のカジカや那珂川が北限とされていたカワアナゴが採取されたのです。さらには奇特なことに、同じ生息域に太平洋から遡上してくるスズキ、汽水域を好むマハゼやボラ、今では環境省絶滅危惧種であるニホンウナギやミナミメダカまで混生していたのです。河口からわずか7キロメートルの単独河川でありながら、これほどの魚種が生息している川はほかにはあり得ない「新川の神秘」を実感したのです。※東海村は同期間に全ての動植物種の生物調査を実施し、平成26(2014)年、県内自治体として初めてとなる「東海村生物多様性地域戦略」の策定を完了しています。